

会 議 録 (概要)

会議の名称	第5回 (仮称) 佐渡文化振興財団設立準備会
開催日時	平成30年1月12日(金) 13:30~14:45
場 所	佐渡市消防本部 1階 コミュニティールーム
議 題	(1) (仮称)佐渡文化振興財団の定款(目的)について (2) " の設立スケジュールについて (3) " の設立要件について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 8名 事務局(理事者) 市長:三浦 基裕 副市長:藤木 則夫 教育長:渡邊 尚人 (企画課) 課長:岩崎 洋昭 主任:源氏 諭史 (観光振興課) 課長:祝 雅之 (社会教委課) 課長:越前 範行 (社会教育課佐渡学センター) 所長:高藤 一郎平次 長:岡部 欽也 主任:鶴間 基宏 主任:石渕 裕作
会議資料	1. 目的、方針、事業概要 2. 設立スケジュール(修正版) 3. 一般財団法人の設立要件 4. 第4回会議録
傍聴人の数	0人
会議録作成者	社会教育課佐渡学センター文化振興係 主任 石渕裕作

会議の概要（発言の要旨）	
議題・発言・結果等	
決定事項	<p>○今回出た意見を踏まえ、必要のない形容詞を削って、事務局で再度目的案を作成し、次回の準備会で提示し、決定する。</p> <p>○法人の課税方式に関する資料を次回の準備会で提示し、説明をする。</p> <p>○第7回の準備会の開催日時 2月7日（水）13:30～</p>
会議概要	<p>○第5回準備会終了後に会員から提出のあった目的及び方針案を基に作成した事務局案（目的・方針）について意見をいただいた。</p> <p>○法人の課税方式の確認を行った。</p> <p>○一般財団法人の設立要件の説明を行った。</p> <p>○見直した設立までにスケジュールについて、説明を行った。</p> <p>○第4回会議録の確認の依頼を行った。</p> <p>○第7回目目の日程の決定を行った。</p>
発言要旨	<p>岡部次長</p> <p>○○○○の役員改選でAさんからBさんに変更となりました。その関係で、Bさんが本日の当準備会から出席となりますので、ご報告します。</p> <p>（1）目的について</p> <p>岡部次長 前回、事務局が提案した目的案について協議していただきました。その後、期間を設けて目的案に関する提案をお願いしておりましたが、CさんとDさんから提案をいただきました。いただいた意見を基に、別紙のとおり事務局案を作成しました。</p> <p>方針につきましては、定款には記載されませんが、法人としてこういった方向性で進んでいくということを確認していただきたく記載してあります。</p> <p>まずは、目的について、事務局案の文言でよろしいかお諮りします。</p> <p>D氏 私からの提案は、佐渡の文化をこれからの世代に残し、未来へ受け継いでいくこと、また、集落の活力を生み出すために、文化資源の活用を通して、持続可能な文化活動および生き活きとした地域住民の暮らしの創造ということを書かせていただいて、提案しました。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨		提案させていただいたものがすべて正しいとは思っておりませんので、ぜひ皆様と意見交換をしながら、作っていただければと思います。
	E氏	<p>「京都、仙台、金沢など10の財団の定款を見ると、【目的】に書かれているキーワードは3点に集約される。①文化の保全、継承、育成 ②文化の振興、創造 ③郷土、地域の発展、豊かな市民生活への寄与・・・この3点につける。これを踏まえて事務局案に手を入れると「この法人は佐渡の豊かな文化を守り未来へ引き継ぐとともに、文化資源の活用を通じ、生き生きとした佐渡の創造に寄与することを目的とする」と整理できる。</p> <p>【目的】への書き込みはシンプルにし、他に必要な記載事項は【事業】など別のところに記載してはどうか。</p>
	F氏	<p>Eさんと同意見です。目的は、多くの市民の方がそらで覚えられくらいにシンプルにまとめて、この法人はこういう目的で動くのだなということが一目で分かるようにしたほうがいいのかと思います。</p> <p>補足的に必要な事項があれば、方針等に記載すればいいかと思います。</p>
	G氏	Eさんのおっしゃった案でも、事務局の案でも文化の力で元気で豊かな佐渡にしようとして書いてあるので、どちらでもいいかなと思います。
	渡邊教育長	事務局の案は、これまでの準備会で議論していただいた内容を集約したものになりますので、この記載内容でお願いできればと思います。
	三浦市長	<p>今までの準備会でいただいた意見を極力入れ込もうということで、作成した案になるかと思います。若干、削れる部分もあるかと思いますが、ベースはこの内容でお願いできればと思います。</p> <p>ただ、今後議論する、法人の方針や行う事業内容が共通認識となっているのであれば、ある程度目的は収斂してもいいかと思います。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	H氏	<p>目的について、現在及び今後生み出される市民の文化活動を支援して地域の活性化をはかっていくという部分が、ちょっと弱い気がします。「支援」という言葉を入れたほうがよいか。</p>
	渡邊教育長	<p>間口が広がってきている気がします。第1回目の準備会での議論では、今、一番困っている伝統文化の保存継承を喫緊になんとかしないといけないということで始まったと思います。それが、なんとなく全部やっってしまうというような話になってきている。</p> <p>今、一番力を入れていかないといけない部分を中心に書いていかないと、最初の議論とは違う方向に進んで行ってしまうと思います。始めからあれもこれもとなると空中分解してしまう恐れもあるので、間口を広げない表現の仕方がいいかと思います。</p> <p>もちろん支援も大事だと思いますが、必要なことは事務局案の方針や事業の中に入っているので、目的は事務局が作成した表現でお願いしたいと思います。</p>
	E氏	<p>事務局案の「豊かな文化を守り」の部分に支援が含まれていると理解すればいいのではないのでしょうか。</p>
	渡邊教育長	<p>そういう形でお願いしたいです。</p>
	三浦市長	<p>今出た意見を踏まえ、必要のない文言を削って、事務局で再度案を作成し、配布させていただきたいと思います。</p> <p>定款については、1回作ったら、安易に変更すべきものではないので、ある程度のりしろを持たせて作っておくことが大事だと思います。</p> <p>そういった意味で定款に記載する目的については、ある程度の範囲、「佐渡の」、「佐渡ならではの」、佐渡の持っている昔ながらも含めた現状の佐渡なりの文化と捉えられる表現になっていけばいいかと思います。あと、目的も大事ですが、財団の運営の部分で、この財団がどういったスタンスでどういったことを取り組んでいくかということ（方針）の共通認識がはかれることが大事だと思います。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	渡邊教育長	<p>今まで出た意見を踏まえ、市長から目的案の提案がありましたので、読み上げさせてください。</p> <p>「この法人は、佐渡の誇りである豊富で多様な文化を守り未来へ引き継ぐとともに、文化資源のさらなる活用を通じ、持続可能な文化活動及び生き生きとした地域住民の暮らしの実現に寄与することを目的とする。」</p>
	岡部次長	<p>高藤所長の案も読み上げさせてください。</p> <p>「この法人は、佐渡の豊かな文化を守り未来へ引き継ぐとともに、文化資源の活用を通じ、「元気で豊かな佐渡」の創造に寄与することを目的とする。」</p>
	F氏	<p>「豊富」と「多様」は似たような意味なので、「豊かな」でいいかと思います。</p>
	渡邊教育長	<p>その部分を直して読むと、「この法人は、佐渡の誇りである豊かな文化を守り未来へ引き継ぐとともに、文化資源のさらなる活用を通じ、持続可能な文化活動及び生き生きとした地域住民の暮らしの実現に寄与することを目的とする。」</p>
	D氏	<p>「さらなる」と「持続可能な」を削れば、もう少しすっきりするのではないのでしょうか。</p>
	G氏	<p>私も「さらなる」はいらないと思います。</p>
	E氏	<p>あとは事務局で整理して、次の時に出してください。</p>
	H氏	<p>それでは、事務局、次の議題をお願いします。</p>
	岡部次長	<p>（２）法人の課税方式について</p> <p>資料がなくて申し訳ないのですが、一般財団法人の課税方式は２つに区分されます。収益事業で生じた所得のみが課税される非営利型法人にするか、寄付を含めた全ての所得が課税対象となる非営利型法人以外の法人にするか、お諮りしたいと思います。</p>
	G氏	<p>資料がないと、よく分からないので、資料をお願いします。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	岡部次長	<p>次回の会議の際に配布し、再度お諮りしたいと思います。</p> <p>（３）一般財団法人の設立要件について 前回の準備会の際に、設立要件に関して質問がありました。設立要件は資料にお示しした通り、</p> <p>①設立者、１人以上 ②出損金、３００万円以上 ③定款の作成 ④評議員、３人以上 ⑤理事、３人以上 ⑥監事、１人以上</p> <p>の６つになりますが、こういった回答でよろしかったでしょうか。定款の必要記載事項まで必要だったでしょうか。</p>
	岡部次長	
	H氏	<p>前回のときは、おおまかな要件という意味で質問したので、この回答で大丈夫です。</p>
	岡部次長	<p>（４）設立までのスケジュールについて 設立までのスケジュールを見直しました。 おおまかに説明しますと、第１回目に提示したスケジュールでは、３月までに６回の準備会を開催することとしていましたが、見直し後は、３月までに１０回、準備会を開催したいと考えています。</p> <p>次回６回目で、本日協議していただいた目的、名称を決定し、７回目で、定款内容の検討、８回目で定款を決定し、就業規則など各種規則の確認。３月に入って、９回目、１０回目で役員（理事・監事）の選定を行えればと思っています。</p> <p>準備会以外の事務局側の動きとしては、今月、来年度の当初予算と国に地方創生交付金申請を提出、３月以降にガバメントクラウドファンディングの募集を開始、地方創生交付金内示、４月に役員・評議員を決定し、依頼。６月に定款の認証、出損金の拠出等を経て、７月に設立登記を申請して、設立、スタートという流れになります。</p> <p>あと、４月からふるさと納税に財団に関するコースを追加する予定です。</p>

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言要旨	H氏	人事関係の案はいつ頃になりますか。
	三浦市長	2月の予算、組織案を協議していただく際に案を提示したいと思います。準備会で評議員、理事等の構成要員数の確認を行っていただければと思います。
	三浦市長	<p>(5) 方針について</p> <p>事務局案の項目だけでいいのか、過不足があるのか、皆様から意見をいただければと思います。</p>
	H氏	方針については、準備会で議論する必要はないのではないかと。
	三浦市長	肝心なところが抜けていないかどうか、意見をいただきたいです。
	H氏	準備会の関知するところではないのではないかと。
	E氏	1点だけ。「市民が積極的に参画できる文化スタイルの確立を目指します。」とありますが、「文化スタイル」とは、どういう意味ですか。
	岡部次長	申し訳ありません。提案者のCさんから説明をお願いしてもよろしいでしょうか。
	C氏	<p>地域住民の方が継続的に豊かな生活を維持するために、「文化」をどう活かしていくかということを考えたときに、収益化や島外から人を呼び込む際に大切なのは「佐渡らしさ」であると思います。</p> <p>ここで言う「文化スタイル」とは、「佐渡らしい」守り方や活用の仕方という意味で書いています。</p>
	E氏	分かりました。要は、一種の「佐渡モデル」を作ることですね。
	C氏	そうです。

